

クリエイティブひがしね ニュース

発行 NPO法人クリエイティブひがしね

TEL 0237-43-1155 www.higashine.org

999-3796 山形県東根市中央1-5-1 タントクルセンター内

発行責任者 理事長 菊地 和博



希望の灯をともし映画会に

広報・地域振興
担当理事 村田 民雄

2010年に東根に映画館がオープンし、日常的に映画を楽しめる街になった。毎日10本を越える作品が延40回以上も上映され、おかげで映画を見る回数が飛躍的に増え、願ってもない施設の登場であった。クリエイティブひがしねでは、それまで大ホールを利用した活動の一部門として、映画、コンサート、演劇などを取り組んできたが、とりあえず映画はお役目終了の分野となっていた。

それが、その映画館とタイアップして昨年実行委員会を組織して取り組んだのが、「ゆめパの時間」の上映会だった。実行委員が手売りで前売券を普及し、みんなで観たい作品をみんなで鑑賞する達成感を味わった。どんな映画にも製作者たちの伝えたいという願いが込められている。その思いを受けとめ共有しながら、さらに多くの観客に伝えて行く、それが実行委員会組織による上映会だ。

今回、わがNPO20周年記念事業として、上映実行委員会を組織し、中村哲医師の軌跡を追った記録

映画「砂漠に希望の灯をともし」を上映することになった。この映画は、一昨年全国の映画館で上映された作品で、東根でも上映されている。全国を一巡し、昨年末から実行委員会方式により上映運動が始まった。長野県では前売券の観客とほぼ同数の観客が来場し、記録映画としては驚異的な動員数になりつつあるという。その要因を配給会社の鳥居社長は「コロナ禍・円安・物価高に加えて政治の腐敗と出口の見えない状況の中で、30数年にわたり飢餓に苦しむアフガニスタンで活動してきた中村医師の後姿に共感し、映画会場に向わせているのでは」と考察している。

戦闘機が飛び交う戦火の中、「彼らは殺すために空を飛び、我々は生きるために地面を掘る」と、黙々と井戸を掘り水路を造り続けた後姿に、日本の希望を見ることが出来る。私たちが中村医師から学べるものが見つかれば、記念事業にふさわしい映画会になるのではないだろうか。

あそびあランド誕生祭 子どもも おとなも あそぼうDAY!

5月5日はひがしねあそびあランドの誕生日。毎年誕生祭を開催しています。今年は「赤十字フェスタ」との同時開催となり、天候に恵まれ、各方面のたくさんの団体が協力してくれたおかげで、約2,400人の来園者でにぎわいました。



「みんなのステージ」では、子どもたちによる合奏やダンス、アンサンブル演奏の他、毎年行ってきた仮装大会が今年はコスプレに発展し、会場を盛り上げました。昨年から復活した「どろんこレース」では、あそびあ田んぼでどろんこレースを楽しみに来園する親子が多く、頭から足の先までドロドロになって楽しんでいました。また昨年に引き続き、村山教育事務所とのタイアップ事業として、北村山地域の高校生ボランティアサークルが「遊びのブース」を出展し、子どもたちに大人気でした。

今年の目玉として、これまで開催してきた「あそびあキッズフリマ」をリニューアルした「あそびあこども商店街」を開催しました。出店準備から売上金の計算まで、子どもたち自身がお店の運営方針や場所決めを行います。その趣旨を理解するために事前に商店街に出店する子どもたちを集つめ、当日の売上金の一部のお金を活用して、何かできないかと話し合いました。その結果、管理棟2階のスペース

に小さい子どもたちが遊ぶため「おもちゃ」を購入することに決まりました。当日はお金の計算が苦手な小学生に中学生が教えてくれる場面も見られ、子ども自身でお店を運営するために、お金の流れを考えたり、お釣りを間違えることもありました。成功体験だけでなく、うまくいかなくても次はこうしようという経験を大切にしたいと思っています。

プレイパークでは、「ベーゴマ大会 回王戦」も行われ、ベーゴマが得意な子が初めての子に教えてくれたり、まわせるようになって大会に出場できたりと白熱した戦いが繰り広げられました。

この誕生祭では、「ベーゴマ」「泥遊び」「昔あそび」を普段から行っているあそびあランドでの遊びを大々的に取り上げることで、子どもたちの日常における普段の遊びにつながってほしいと願っています。誕生祭をきっかけにあそびあランドを知ってもらい、こどもたちの「やってみたい」を引き出していきたいです。(高橋陽介)

どようびサロンで仲間づくり

子育ての心配や不安の軽減、解消、情報交換やおしゃべりをする為「空間、時間、仲間づくり」を目的とした「サロン」や「ひろば」を開催しています。今年度からは、在家庭の親子だけではなく、仕事復帰などの理由で平日遊びに来られない親子を対象とした「どようびサロン」を月に1回開催しています。

子どもたちが遊んでいる様子を見守りながら「子どもたちの入園後の様子」「仕事と家事の両立方法」「帰宅後の子どもとの関わり方」などを大切にしています。また、参加者同士で子どもたちの手形や足形を取り合いながら、その成長を喜びあえる時間でもあります。「家庭」から「集団生活」へ子育ての環境は変化しても、子育てに対する不安や心配などを1人で抱え込まず、つながり合い、支え合える場にしていきたいと思います。（庄司美保子）



親子で交流けやきひろば

毎週金曜日に開催している「けやきひろば」は、主に乳児から未就園前のお子さんご家族が、遊びを通して交流できる場です。身近な素材を使ったり、けやきホールの遊具を活かして遊びます。広いけやきホールの中で、週に1度ですが来館者が一堂に会する素敵な時間です。ひろばがきっかけでいろんな親子が会って顔見知りになれる時間です。けやきホールが安心して遊べる場としてだけでなく、子育てをとおした新しい出会いの場をつくっていく場所になるよう工夫しています。（齋藤美那）



今年もやります! オレンジリボンフェスタ

オレンジリボンフェスタ開催から早7か月余。思い返してみれば、それなりの苦労はありましたが、会場に溢れた笑顔の数々、子育て支援や人権保護に関わる団体と構築したネットワークなど、苦労を遥かに凌ぐ喜びや感動を味わうことができました。

でも、たった1度の開催で、子どもや子育てにやさしい社会をつくれるはずはありません。“継続は力なり”、今年も9月29日にフェスタを開催します。どうぞ、皆さんの力を貸してください。

オレンジリボンフェスタ実行委員長
三浦 通夫



けやきジュニア合唱団 ♪♪ 大募集! ♪♪



けやきジュニア合唱団は平成17年に発足し、今年で結成19年を迎えました。コロナウィルスが5類に移行後は様々なイベント出演の機会をいただき、改めて歌う喜びを噛み締めています。練習日は月2回、午後4時から5時30分まで。主に中部小学校を会場に団員、先生方と共に楽しく練習しています。現在新しい仲間を随時募集しています。歌う事が大好きなあなた、私たちと一緒に歌ってみませんか。

練習日：土曜日2回
時間：16：00～17：30
練習会場：中部小学校、東根公民館他
会費：月4,000円
制服：貸与
連絡先：クリエイトひがしね事務局
さくらんぼタントクルセンター内
Tel0237-43-0734 (村山・結城)

事務局の窓

昨年度から新たに2人のメンバーを加え、新体制となったクリエイトひがしね事務局では、なれない事務作業や引継ぎに追われています。しかし、そんな中でも現場の動きが停滞しないよう必死に業務に従事しているところです。また、事務局の役割として現場の職員が働きやすいように組織を整える仕事も重要だと感じています。働きやすい環境が職員を支え、来園者来場者を支える土台になることを念頭に励んでいきたいと思えます。子育て支援という専門的な仕事に、さらに会計や世の中のルールまで幅広い仕事は、自分を成長させる糧だと思えます。まだまだ、現場の職員や多くの方々に協力をお願いしたり、ご迷惑をおかけすることがあるかもしれませんが、一步一步進んでいきたいと思えますので、新事務局をどうぞよろしく願います。(S)

編集後記

当法人は今年で20年の節目を迎えます。どんなに長くとも一日一日、一年一年の積み重ねで成り立つ歲月。過ぎてしまえばあっという間の時間ですが、私たちが向き合ってきた子どもたちの成長でその時間を置き換えてみると、その意味合いが変わってきます。たとえば、けやきホールに初めて訪れた10代の子どもたちはすでに30代の親世代です。子どもから大人へ日々成長する来館者と向かい合ってきた私たちは大人のまま。子どもたちから学ぶものがなければ馬齢を重ねるだけ。新たな発見に向かい合いながら私たちも成長し続けなければなりません。節目とは心を新たにするときです。(M)